

# 校長だより(令和2年9月)

校長 吉井靖明

## ◇ 高等部棟完成！ 引っ越し終了！

待ちどほしい。夏休み明け、いよいよ引っ越し作業が完了し、高等部棟へ移設された。高等部棟は、従来の高等部棟よりも、より快適な環境を整え、最新の設備を備え、生徒たちの学びの場として、より活躍の場となることを目指している。引っ越し作業は、職員総出で行われ、無事完了した。高等部棟は、従来の高等部棟よりも、より快適な環境を整え、最新の設備を備え、生徒たちの学びの場として、より活躍の場となることを目指している。



※猛暑の中、職員総出の引っ越し作業となりました。

## ○ 作業業学習製品販売実習

7月21日、高等部で作業業学習製品の販売実習が行われました。これは、本校が取り組んでいる「作業業学習製品販売実習」の一環として、生徒たちが栽培した野菜・苗木・木工品等を、校内で販売しました。生徒たちは、販売活動を通じて、接客スキルやコミュニケーション能力を身につけることができました。また、生徒たちも自分たちの製品が認められ、大きな自信を得たようです。次回も、ぜひ多くの方にご来店いただき、ご支持をお願いします。



※生徒の「頑張り」が製品という「かたち」となり、やがて売る人、買う人の「よろこび」に変わりました。

## ○ ぐんまアビリンピックで大健闘！

8月1日、高崎市の群馬県職業能力開発促進センターにおいて、第18回群馬県障がい者技能競技大会（ぐんまアビリンピック2020）が開催されました。本校からは、高等部2・3年生の5名が、ビジネスアシスタント部門に参加し、4名の生徒が、第1位と第2位という素晴らしい成績を収めました。これは、本校の生徒たちが、日々努力を怠らないうちで、大きな成果を挙げたことと、指導員や先生方のサポートがあったことによるものと見られます。この素晴らしい成績を、今後の学習の励みとして、さらなる活躍を目指してまいります。

○ 高等部校舎完成式典 校長挨拶

庚申山の森からはゆく夏を惜しむかのようににぎやかな蝉の声が聞こえてきます。記録的な暑さの8月が過ぎ、ここ多野・藤岡の地にも、もうすぐ、実りの秋がやってきます。この佳き日に、藤岡市市長 新井雅博 様、群馬県議会文教警察常任委員長 大和勲 様をはじめ、多くの御来賓の御臨席を賜り、高等部校舎完成記念式典を挙行できますことを、本校生徒・職員を代表し、心より深く感謝申し上げます。

特別支援学校未整備地域であったこの地に暮らす保護者の方々の切なる声は、やがて多くの人々の心に響き、大きな力を得て、ついに障がいを持つ子どもたちをとりまく環境を大きく変えるという奇跡を起こしました。本校はその奇跡の一つとして平成二十六年、県立みやま養護学校藤岡分校として産声を上げました。翌平成二十七年には県立藤岡特別支援学校として単独校化され、さらに平成三十年、高等部が設置されました。そして今年4月の入学をもって小学部一年生から高等部三年生まですべての学年が揃い、来年3月には初めての卒業生を送り出すこととなりました。ここに本校高等部のスローガンにもある「地域で学び、地域へつなぐ」体制が整いました。

高等部校舎建設に係る動きは、一昨年度から始まりました。しかし、皆様のご承知の通り、すべてが順風満帆に進んだわけではありません。建設用地の問題解消のため、完成は約4ヶ月遅れることになりました。さらに今般のコロナウイルス感染症の影響で一時は物資の供給の目処がたたず、完成の再延長が危惧される状況にも陥りました。この間、プレハブの仮校舎での生活は決して快適という状況ではありませんでした。夏の暑さ、冬の寒さは厳しく、また、今年度に入ってから全学年がそろったこともあり、手狭な状況は否めず、生徒諸君には我慢を強いる場面が多々ありました。しかし、このような状況にあっても、高等部の生徒たちは生き生きと、そして意欲を持って学習に臨み、校舎内にいつも笑顔と活気が満ちあふれていたことは大きな救いでありました。そして日一日と新しい校舎が形になっていくのを横目で見ながら、今か今かと完成を心待ちにしていました。そして、ついに今日、このような立派な、素晴らしい校舎での生活が始まろうとしています。本当に夢のようです。

校舎建設にあたりまして、より良い環境整備に深いご理解と格別なるご配慮を賜りました群馬県ならびに藤岡市の関係者の皆様、また計画当初から貴重なご意見・ご指導をいただきなど、ご支援、ご協力を賜りました県議会議員の皆様や区長さん、保護者の皆様、そして本校設立のきっかけを作ってくださったクレッシェンドの皆様、さらには設計や工事、引越に携わってくださった業者の皆様等、建設に関わるすべての皆様に深く感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。本校の環境整備は今後も体育館の建設、農地の拡充と続いていく予定です。今後とも変わらずご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

我々職員はこの潤沢な施設・設備を使って、これから、どのように教育活動を展開していくか、胸が高鳴っています。群馬県一の校舎をつくらせていただきましたので、教育活動を更に充実させ、名実ともに群馬県一魅力ある学校となるよう、生徒とともに、新たな藤岡特別支援学校の歴史をつかっていきたいと思っております。そしてまた、この地域に暮らすすべての人が障がいのあるなしにかかわらず、安心して幸せに暮らしていける社会の実現に向け、中核的な役割を、率先して果たしていく決意を新たにしています。

生徒の皆さん、この新しい校舎は、皆さんの可能性を広げ、自信をもって社会にはばたき、未来を切り拓いてもらえるように願って建てられた建物です。この新しい校舎のように新鮮で大きな夢を持って、友達と、共に学び、共に遊び、共に高め合い、沢山の思い出をこの校舎と一緒に作っていきましょう。皆さん自身が、この新しい校舎と共に、藤岡特別支援学校の未来を切り拓いていくのです。そしてこの校舎での様々な経験が、皆さんの大きな夢の実現への架け橋になることを願っています。

最後になりますが、本校は、多野・藤岡地域のすべての子どもたちが、この地域で学び、安心して生きていけるようつうられました。子どもたちがこれまで以上に、この地域の皆様に温かく見守られ、地域の中で育っていけるよう、ご支援とご協力をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。今日は、誠にありがとうございました。

令和二年八月三十一日

群馬県立藤岡特別支援学校校長 吉井靖明